

香川県みどりの基本計画に基づく施策の実施状況

施策	森林整備と森林資源循環利用の推進 「1 県産木材の供給促進」																				
実施状況	<p>①森林整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の供給を促進するため、造林事業等による森林整備を推進するとともに、間伐材の搬出促進等に努めている。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林整備面積</td> <td>974ha</td> <td>750ha</td> <td>784ha</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに即した育種、種苗の試験研究及びその普及に取り組んでいる。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5 までの実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地球温暖化対策・花粉症対策</td> <td>エリートツリーや少花粉のスギ・ヒノキの種子を供給</td> </tr> <tr> <td>松くい虫被害対策</td> <td>第二世代抵抗性アカマツ（7系統21本）及び第二世代抵抗性クロマツ（6系統24本）の採種園を造成</td> </tr> <tr> <td>コンテナ苗生産の普及</td> <td>特定母樹のコンテナ苗を利用し、樹種転換試験及び現地適応化試験を実施。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	森林整備面積	974ha	750ha	784ha	区分	R5 までの実績	地球温暖化対策・花粉症対策	エリートツリーや少花粉のスギ・ヒノキの種子を供給	松くい虫被害対策	第二世代抵抗性アカマツ（7系統21本）及び第二世代抵抗性クロマツ（6系統24本）の採種園を造成	コンテナ苗生産の普及	特定母樹のコンテナ苗を利用し、樹種転換試験及び現地適応化試験を実施。				
	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																	
	森林整備面積	974ha	750ha	784ha																	
	区分	R5 までの実績																			
	地球温暖化対策・花粉症対策	エリートツリーや少花粉のスギ・ヒノキの種子を供給																			
	松くい虫被害対策	第二世代抵抗性アカマツ（7系統21本）及び第二世代抵抗性クロマツ（6系統24本）の採種園を造成																			
	コンテナ苗生産の普及	特定母樹のコンテナ苗を利用し、樹種転換試験及び現地適応化試験を実施。																			
	<p>②路網整備等による効率的な作業システムの導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な森林の整備や間伐材の搬出を推進するため、林道と森林作業道による路網整備の促進や高性能林業機械等の導入を支援している。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林管理道(累計)</td> <td>28.9km</td> <td>28.9km</td> <td>29.1km</td> </tr> <tr> <td>森林作業道</td> <td>8,471m</td> <td>5,062m</td> <td>11,087m</td> </tr> <tr> <td>高性能林業機械の導入支援</td> <td>—</td> <td>1台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>列状間伐の実施</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8.45ha</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	森林管理道(累計)	28.9km	28.9km	29.1km	森林作業道	8,471m	5,062m	11,087m	高性能林業機械の導入支援	—	1台	1台	列状間伐の実施	—	—	8.45ha
	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																	
	森林管理道(累計)	28.9km	28.9km	29.1km																	
森林作業道	8,471m	5,062m	11,087m																		
高性能林業機械の導入支援	—	1台	1台																		
列状間伐の実施	—	—	8.45ha																		
<p>③施業の集約化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源情報の収集・整理、森林経営計画策定の支援、森林総合監理士の育成に努めている。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5 までの実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林資源情報の活用</td> <td>・森林管理システムを整備し、毎年度、情報を更新し、市町、森林組合へ提供</td> </tr> <tr> <td>香川型の森林施業体系の検討</td> <td>・県営林においてヒノキの特定母樹による低密度植栽を実施</td> </tr> <tr> <td>森林総合監理士の育成</td> <td>・国研修への派遣 5人（R3～R5）</td> </tr> <tr> <td>森林経営計画策定の促進</td> <td>・認定面積 6,198ha</td> </tr> <tr> <td>市町への支援</td> <td>・年に1回県内市町担当者への説明会 ・森林経営管理制度にかかる意向調査の実施</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5 までの実績	森林資源情報の活用	・森林管理システムを整備し、毎年度、情報を更新し、市町、森林組合へ提供	香川型の森林施業体系の検討	・県営林においてヒノキの特定母樹による低密度植栽を実施	森林総合監理士の育成	・国研修への派遣 5人（R3～R5）	森林経営計画策定の促進	・認定面積 6,198ha	市町への支援	・年に1回県内市町担当者への説明会 ・森林経営管理制度にかかる意向調査の実施									
区分	R5 までの実績																				
森林資源情報の活用	・森林管理システムを整備し、毎年度、情報を更新し、市町、森林組合へ提供																				
香川型の森林施業体系の検討	・県営林においてヒノキの特定母樹による低密度植栽を実施																				
森林総合監理士の育成	・国研修への派遣 5人（R3～R5）																				
森林経営計画策定の促進	・認定面積 6,198ha																				
市町への支援	・年に1回県内市町担当者への説明会 ・森林経営管理制度にかかる意向調査の実施																				

現況・課題	<p>①木材価格の低迷、豪雨災害や獣害等のリスクもあり、森林所有者が林業へ投資する意欲が低下していることから、経済的に持続可能な主伐、再造林、保育の施業方法等を検討する必要がある。</p> <p>②林内路網整備の促進、高性能林業機械の導入支援を継続するとともに、効率的な作業システムを実証するための県営林での列状間伐の実施や、老朽化した林道の点検・維持管理が必要である。</p> <p>③森林関連情報の精度向上等のため、航空レーザ解析データを整備するとともに、森林経営計画の認定面積が私有林面積の 8%にとどまっているため、集約化の促進が課題である。また、森林総合監理士の不足や森林経営管理制度に基づく意向調査を実施した市町への事後支援も課題である。</p>
-------	---

施策	森林整備と森林資源循環利用の推進 「2 県産木材の利用促進」									
実施状況	①県産木材の流通体制の整備 ・付加価値の高い県産木材の加工・流通体制の整備を支援するとともに、県産木材認証制度の適切な運用により、県産木材のブランド化を推進している。									
			R3 実績		R4 実績		R5 実績			
	加工経費等補助		2 件		3 件		1 件			
	認証実績 (入荷数量)		原木 10,299 m ³ 製品 2,194 m ³		原木 7,604 m ³ 製品 719 m ³		原木 9,899 m ³ 製品 802 m ³			
	認証実績 (出荷数量)		原木 7,600 m ³ 製品 1,789 m ³		原木 4,408 m ³ 製品 1,178 m ³		原木 10,541 m ³ 製品 1,245 m ³			
	②公共建築物・民間住宅等における県産木材利用の促進 ・県及び各市町が策定している「公共建築物等における県産木材の利用の促進に関する方針」に基づき、県及び各市町が整備する施設において県産木材の利用を推進するとともに、県産木材を利用した個人住宅・民間施設の新築・増改築等を支援している。									
			R3 実績		R4 実績		R5 実績		合計	
	区分	施設数・ 交付件数	量 m ³	施設数・ 交付件数	量 m ³	施設数・ 交付件数	量 m ³	施設数・ 交付件数	量 m ³	
	県	4 施設	61.2	4 施設	14.9	4 施設	30.3	12 施設	106.4	
	市町	5 施設	150.8	4 施設	182.9	6 施設	247.1	15 施設	580.8	
個人	50 件	210.4	41 件	192.4	33 件	119.1	124 件	521.9		
民間 施設	2 件	3.5	1 件	10.4	1 件	11.7	4 件	25.6		
計	—	425.9	—	400.6	—	408.2	—	1234.7		
③県産木材の普及啓発 ・各種イベントにおける県産木材の PR 活動を支援するとともに、「かがわの森アンテナショップ」等において県産木材製品の PR 活動を行い、県産木材製品の販売促進と需要拡大を図っている。また、CLT などの新技術等について情報収集を行い、事業者などへの普及啓発も行っている。										
		区分		イベント参加者数						
				R3 実績	R4 実績	R5 実績				
		ウッディフェスティバル		—	3,400 人	4,000 人				
		かがわの森アンテナショップ		412 人	186 人	100 人				
		モクモクおもちゃ広場の開催		350 人	789 人	517 人				
		CLT を用いた建築物等の見学等		—	46 人	71 人				
		県産木材利用への理解醸成を図る 学生研修		—	29 人	58 人				

<p>現況・課題</p>	<p>①住宅建築等の補助事業申請者や県産認証木材取扱事業者は固定され、県産認証木材の製材への取り組みに広がりが見られないのが現状である。県産木材の搬出量が増加傾向にある中、引き続き、関係団体と情報共有できる体制を構築しておくことが重要である。</p> <p>②公共建築物等における県産木材の利用については一定の理解を得られているものの、予算の都合や発注のタイミング等により県産木材の調達ができないなどの理由から県産木材が利用できる建築物において利用されない事例もある。</p> <p>③県産木材の認知度は一定高まってきていると考えるが、県産木材の需要を拡大するためには、一般消費者のみならず工務店や事業者なども対象に含めた継続的な普及啓発活動の取り組みが重要である。</p>
--------------	---

施策	森林整備と森林資源循環利用の推進 「3 里山再生の推進」																												
実施状況	<p>①里山整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者などが行う高齢級化している広葉樹林や放置された竹林などの整備に対して支援するとともに、広葉樹林や竹林の管理技術を開発し、普及啓発に努めている。 <table border="1" data-bbox="416 472 1390 595"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒廃竹林整備面積</td> <td>31ha</td> <td>21ha</td> <td>17ha</td> </tr> <tr> <td>竹林整備技術出前講座</td> <td>1 回</td> <td>0 回</td> <td>0 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>②里山資源の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生産等に取り組んでいる地域において、里山資源活用の拠点づくりを推進するとともに、各種イベントで特用林産物の PR を行っている。 ・広葉樹材の利活用と合わせた更新伐により広葉樹林の若返りを図るなど、高齢級化している広葉樹林の適正な管理と利活用の方法について検討するとともに、県森連と連携し、薪原木や銘木等森林整備の過程で発生する根株や広葉樹等の県産木の需給情報を収集することを目的とした里山資源情報を、令和4年度から一般公開している。 <table border="1" data-bbox="416 987 1390 1151"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>里山資源活用拠点づくり</td> <td>2 団体</td> <td>1 団体</td> <td>(事業終了)</td> </tr> <tr> <td>特用林産物 PR</td> <td>—</td> <td>冬のあったかまつり</td> <td>薪割体験等</td> </tr> <tr> <td>更新伐面積</td> <td>12ha</td> <td>1ha</td> <td>0ha</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	荒廃竹林整備面積	31ha	21ha	17ha	竹林整備技術出前講座	1 回	0 回	0 回	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	里山資源活用拠点づくり	2 団体	1 団体	(事業終了)	特用林産物 PR	—	冬のあったかまつり	薪割体験等	更新伐面積	12ha	1ha	0ha
区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																										
荒廃竹林整備面積	31ha	21ha	17ha																										
竹林整備技術出前講座	1 回	0 回	0 回																										
区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																										
里山資源活用拠点づくり	2 団体	1 団体	(事業終了)																										
特用林産物 PR	—	冬のあったかまつり	薪割体験等																										
更新伐面積	12ha	1ha	0ha																										
現況・課題	<p>①里山の再生を図るため、道路や住宅、農地周辺で放置された竹林や広葉樹林の伐採から植林、保育までの取組みを行う森林所有者等に対して補助しているものの、竹材・広葉樹材の搬出については実績が少ない。</p> <p>②未利用資源を活用する薪等の生産拠点が整備され、薪等の生産量も増加傾向にあり、県産広葉樹材が用材として適正価格で流通し始めているが、サプライチェーンの仕組みができた訳ではない。また、県産広葉樹に関心のある事業者等が増え、一定の需要ができたが、山側の供給が不安定、県内に広葉樹を人工乾燥できる施設がない等の課題がある。</p>																												

施策	森林整備と森林資源循環利用の推進 「4 森林・林業の担い手育成」																																		
実施状況	<p>①林業後継者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業研究グループが所属する香川県林業普及協会が実施する研修会や普及啓発活動への支援を行っている。 ・新たに森林を相続した者や今後相続する予定の者を含め、森林所有者などを対象に、森林・林業教室を令和6年度から開催している。 <table border="1" data-bbox="414 504 1388 884"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会への参加支援</td> <td>木材等搬出研修</td> <td>路網設計支援ソフト説明会・OWL活用研修</td> <td>鋸谷式間伐講習等</td> </tr> <tr> <td>研修会の開催支援</td> <td>—</td> <td>会員所有山林視察</td> <td>先進地視察等</td> </tr> <tr> <td>後継者育成支援</td> <td>中四国コンクール派遣</td> <td>全国林業後継者大会派遣</td> <td>中四国コンクール・全国林業後継者大会派遣</td> </tr> <tr> <td>普及啓発活動の支援</td> <td>1回 (普及だより作成)</td> <td>3回 (普及だより作成・イベント)</td> <td>1回 (普及だより作成)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②担い手育成の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合等が行う林業従事者に対する労働安全衛生の充実、技術の向上、福利厚生への充実、経営基盤の強化等を支援している。 ・林業労働力確保支援センターが行う、林業への就業希望者を対象とした求職情報の提供や、技術研修、各種相談活動に対して支援している。 <table border="1" data-bbox="414 1164 1388 1568"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5までの実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働安全確保</td> <td>技術修得、労働災害防止等への支援</td> </tr> <tr> <td>福利厚生対策</td> <td>保険・共済制度への加入、健康診断の受診に対する支援</td> </tr> <tr> <td>経営基盤強化</td> <td>高性能林業機械の導入、集約化等への支援</td> </tr> <tr> <td>林業労働力確保</td> <td>求職者への求人情報の提供、技術研修等に対する支援</td> </tr> <tr> <td>かがわ森林整備担い手対策協議会</td> <td>「山で働く人を増やす、山で働く人を活かす、山で働く人を支える」取組みの3つを柱として令和6年度から事業開始</td> </tr> <tr> <td>意欲と能力のある林業経営体</td> <td>生産性の向上や再造林の実施、林業従事者の雇用管理の改善</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3実績	R4実績	R5実績	研修会への参加支援	木材等搬出研修	路網設計支援ソフト説明会・OWL活用研修	鋸谷式間伐講習等	研修会の開催支援	—	会員所有山林視察	先進地視察等	後継者育成支援	中四国コンクール派遣	全国林業後継者大会派遣	中四国コンクール・全国林業後継者大会派遣	普及啓発活動の支援	1回 (普及だより作成)	3回 (普及だより作成・イベント)	1回 (普及だより作成)	区分	R5までの実績	労働安全確保	技術修得、労働災害防止等への支援	福利厚生対策	保険・共済制度への加入、健康診断の受診に対する支援	経営基盤強化	高性能林業機械の導入、集約化等への支援	林業労働力確保	求職者への求人情報の提供、技術研修等に対する支援	かがわ森林整備担い手対策協議会	「山で働く人を増やす、山で働く人を活かす、山で働く人を支える」取組みの3つを柱として令和6年度から事業開始	意欲と能力のある林業経営体	生産性の向上や再造林の実施、林業従事者の雇用管理の改善
区分	R3実績	R4実績	R5実績																																
研修会への参加支援	木材等搬出研修	路網設計支援ソフト説明会・OWL活用研修	鋸谷式間伐講習等																																
研修会の開催支援	—	会員所有山林視察	先進地視察等																																
後継者育成支援	中四国コンクール派遣	全国林業後継者大会派遣	中四国コンクール・全国林業後継者大会派遣																																
普及啓発活動の支援	1回 (普及だより作成)	3回 (普及だより作成・イベント)	1回 (普及だより作成)																																
区分	R5までの実績																																		
労働安全確保	技術修得、労働災害防止等への支援																																		
福利厚生対策	保険・共済制度への加入、健康診断の受診に対する支援																																		
経営基盤強化	高性能林業機械の導入、集約化等への支援																																		
林業労働力確保	求職者への求人情報の提供、技術研修等に対する支援																																		
かがわ森林整備担い手対策協議会	「山で働く人を増やす、山で働く人を活かす、山で働く人を支える」取組みの3つを柱として令和6年度から事業開始																																		
意欲と能力のある林業経営体	生産性の向上や再造林の実施、林業従事者の雇用管理の改善																																		
現況・課題	<p>①林業研究グループや森林所有者などを対象に研修会の参加や開催を支援するとともに、広葉樹等里山資源の活用の取組みも支援し、自主的な森林管理や林業活動を促進しているものの、現在積極的に林業活動を行っている森林所有者等も高齢化が進んでいることから、後継者の育成が急務である。</p> <p>②森林整備の担い手である森林組合等の作業班員数は、長期的には減少傾向にあることから、引き続き育成・確保に取り組む必要がある。</p>																																		

施策	暮らしを支えるみどりの充実 「1 暮らしを守るみどりの保護・保全」												
実施状況	<p>①山地災害防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地災害危険地区において、荒廃地等の復旧整備を行っている。また、既存の治山施設の防災機能強化を図るため、施設の点検・診断・機能回復を行っている。 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治山事業</td> <td>12箇所</td> <td>10箇所</td> <td>14箇所</td> </tr> <tr> <td>治山施設機能強化事業</td> <td>309箇所</td> <td>239箇所</td> <td>147箇所</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3実績	R4実績	R5実績	治山事業	12箇所	10箇所	14箇所	治山施設機能強化事業	309箇所	239箇所	147箇所
	区分	R3実績	R4実績	R5実績									
	治山事業	12箇所	10箇所	14箇所									
	治山施設機能強化事業	309箇所	239箇所	147箇所									
	<p>②保安林の適切な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林法に基づき、保安林の指定・解除・指定施業要件の変更を行うとともに、立木竹の伐採・土地の形質の変更等を制限し保安林制度の適切な運用に努めている。保安林台帳を整備し、保安林の位置の把握、無断伐採の監視も行っている。また、保安林内において、山地災害の未然防止・軽減を図るため、荒廃地等の復旧整備を実施している。 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保安林機能の回復 (森林整備)</td> <td>59.94ha</td> <td>56.67ha</td> <td>31.81ha</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3実績	R4実績	R5実績	保安林機能の回復 (森林整備)	59.94ha	56.67ha	31.81ha				
	区分	R3実績	R4実績	R5実績									
	保安林機能の回復 (森林整備)	59.94ha	56.67ha	31.81ha									
	<p>③適正なみどりの保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林地開発許可制度について、開発事業者趣旨を十分理解させ、許可後は適切な指導を行っている。 ・「みどり豊か度うのおいのある県土づくり条例」に基づき、事前協議制度を適切に運用し、秩序ある開発と、みどりの保全協定により開発跡地の確実な緑化を図っている。 ・違法な開発行為の防止と早期発見のためみどりの巡視員による監視を行っている。 ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る活動等に支援を行っている。また、農業振興地域制度や農地転用許可制度の適正な運用により、農地の保全に努めるとともに、農業水利施設の整備と一体的に行う生態系保全施設の整備等に支援を行っている。 ・有用な水産生物の成長に応じた漁場整備、既存施設の有効活用を図るとともに、干潟・藻場の現状把握と保護・造成に努め、多様な生物が集まる良好な生育環境の整備を推進している。 												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5までの実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前協議終了</td> <td>156件</td> </tr> <tr> <td>保全協定締結</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td>巡視延日数</td> <td>1800日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5までの実績	事前協議終了	156件	保全協定締結	105件	巡視延日数	1800日					
区分	R5までの実績												
事前協議終了	156件												
保全協定締結	105件												
巡視延日数	1800日												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地転用許可</td> <td>1,418件、138.8ha</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5実績	農地転用許可	1,418件、138.8ha									
区分	R5実績												
農地転用許可	1,418件、138.8ha												
<p>④森林病虫害等防除対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市町が連携して、環境に配慮した適切な防除など、地域にとって重要なマツ林の保全に努めている。 ・香川県ナラ枯れ防除対策方針に基づき、市町と連携し、ナラ枯れの早期発見と被害の急速な拡大防止に努めている。 ・林野火災や干害などによる森林所有者の損害を抑えるため、森林組合を通じて森林保険への加入促進や、山火事防止ポスターの掲出により、林野火災予防の普及啓発を行っている。 													

・みどりの巡視員による火気取扱いの注意喚起等を行っている。

区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績
松くい虫防除 (地上散布)	63 ha	52 ha	51 ha
松くい虫防除 (伐倒駆除)	555 m ³	361 m ³	359 m ³
ナラ枯れ防除 (駆除量)	1,126 m ³	990 m ³	1,176 m ³

⑤有害鳥獣対策の推進

- ・シカなどの野生鳥獣から森林を保護するため、森林所有者による鳥獣侵入防護柵の整備や食害防護資材の設置などの被害防止対策を支援している。
- ・若者や女性を対象とした狩猟免許取得の入門講座や、狩猟初心者から捕獲経験者まで段階にあわせた捕獲技術講習会を開催するとともに、市町が行うイノシシ等の捕獲や地域住民による侵入防止柵の設置など、鳥獣害防止のための地域づくりを推進している。
- ・市街地に出没するイノシシ対策について、県主体の捕獲事業を実施するほか、市町の市街地周辺での捕獲や侵入防止柵の設置等に対する支援を行うとともに、出没時における現場対応を行う市町や警察の担当者、猟友会会員を対象とした研修会を開催し、緊急時の連携と対応力の強化を図っている。
- ・新たな特定外来生物の県内侵入の防止のため、情報収集・監視による早期発見・早期防除を実施している。

現況・課題

- ①山地災害危険地区の危険度ランクの高い地区から整備しているが、その整備率が40%にとどまっている。
また、気候変動の影響により災害が激甚化・頻発化する中、関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる「流域治水」において関係省庁等の連携が求められている。
- ②松くい虫被害跡地に治山事業等で植栽した人工林が間伐時期を迎えていることから、計画的に整備する必要があることに加え、水害の激甚化・頻発化等を踏まえて流域治水と連携した取組みを行う必要があり、下流への雨水流出を抑制するため、森林の保水力の維持・向上を図る必要がある。
- ③森林の無秩序な開発を防止するため、引き続き林地開発許可制度、事前協議制度の適正な運用に努めるとともに、保安林制度を適正に運用し、保安林の機能の維持や回復に努める必要がある。
中山間地域における過疎化の進行等に伴う地域活力の低下等により遊休農地が増加しており、農業生産基盤、農業近代化施設等の計画的整備、農用地の面的利用の集積などを進めていく必要がある。
藻場の造成は水深 5～8m の浅海域かつ漁業操業に支障のない場所で実施しているため、造成適地が限定されている中での効果的な造成が必要である。また、海水温上昇の影響で植食性動物のアイゴやムラサキウニによる食害が増大しており、藻場の減少が懸念される。
- ④松くい虫被害は減少傾向にあるが、依然として被害が発生しており、地域にとって重要なマツ林を保全するため被害対策が必要である。
ナラ枯れについては、県内で被害区域が拡大していることから、市町などと連携し、ナラ枯れの早期発見と防止対策が必要である。
- ⑤これまでは、森林でのシカ被害は小豆島地域が主であったが、近年、徳島県境を中心に本土部での農業被害やシカの目撃及び捕獲が増加していることから、本土部においても被害対策を行う必要がある。また、本県未発見の特定外来生物（ヒアリ、アルゼンチンアリなど）の早期発見に向けた市町等との連携体制の整備が必要である。

施策	暮らしを支えるみどりの充実 「2 すぐれた自然の保護・保全」								
実施状況	<p>①自然公園等の保護・利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立公園の利用施設の国際化対応や老朽化対策を行うとともに、大滝大川県立自然公園について、香川県立自然公園条例で区域（特別地域、普通地域）を指定して行為を制限することで、すぐれた自然環境の保全を図っている。 ・県民いこいの森野営場、大川山野営場において、指定管理者による自主事業を行っているが、令和3年度から4年度はコロナ禍中のため、県民いこいの森野営場では自主事業を開催しなかった。 ・瀬戸内海国立公園の指定日である3月16日を記念して、毎年3月に「屋島ウォーク」を開催している。令和6年3月16日には指定から90周年を迎えたことから、県では、瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業として、セレモニーと「屋島ウォーク」を開催した。 <p>②すぐれた風景や自然環境、良好な生活環境の保護・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な自然環境を対象として香川県自然環境保全地域を4箇所指定し、また、地域の良好な生活環境の確保に資するものを香川県緑地環境保全地域として5箇所指定し、適切な保護・保全に努めている。 ・開発事業による環境への影響を回避・低減するため、一定規模以上の開発事業に対する環境影響評価制度の適正な運用を図っている。 <table border="1" data-bbox="416 974 1390 1137"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5 末時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香川県自然環境保全地域</td> <td>弥谷山、藤尾山、水主、女体山</td> </tr> <tr> <td>香川県緑地環境保全地域</td> <td>七宝山、大高見峰、小松尾山、大水上、間川</td> </tr> <tr> <td>環境影響評価</td> <td>1件（バイオマス発電所（坂出林田））</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5 末時点	香川県自然環境保全地域	弥谷山、藤尾山、水主、女体山	香川県緑地環境保全地域	七宝山、大高見峰、小松尾山、大水上、間川	環境影響評価	1件（バイオマス発電所（坂出林田））
	区分	R5 末時点							
	香川県自然環境保全地域	弥谷山、藤尾山、水主、女体山							
	香川県緑地環境保全地域	七宝山、大高見峰、小松尾山、大水上、間川							
環境影響評価	1件（バイオマス発電所（坂出林田））								
<p>③自然記念物等の保護・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川の保存木等を県HPに掲載するとともに、樹木の樹勢回復等の相談があった場合は、樹木医や 助成団体の紹介を行っている。また、みどりの巡視員による自然記念物等の現状把握に努めるとともに、自然記念物の適切な保護・保全に努めている。 ・名勝、天然記念物の定期的な巡視を行い適切な保護・保全に努めている。 <table border="1" data-bbox="416 1422 1390 1547"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5 末時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香川県自然記念物、保存木</td> <td>自然記念物 55 箇所、保存木 114 本</td> </tr> <tr> <td>国・県指定文化財（教委）</td> <td>名勝 8 件・天然記念物（樹木等） 33 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5 末時点	香川県自然記念物、保存木	自然記念物 55 箇所、保存木 114 本	国・県指定文化財（教委）	名勝 8 件・天然記念物（樹木等） 33 件			
区分	R5 末時点								
香川県自然記念物、保存木	自然記念物 55 箇所、保存木 114 本								
国・県指定文化財（教委）	名勝 8 件・天然記念物（樹木等） 33 件								
<p>④生物多様性の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く生物多様性への理解と関心を高めるため、県民に身近な市町で生物多様性をテーマにした標本展の開催や、森や川など生息場所に特徴的な生き物を対象にフィールド講座を実施している。 ・指定希少野生生物及び指定候補種の調査を実施し、生息状況等の把握に努めている。 ・幅広く鳥獣保護思想の普及啓発を図るため、ポスター原画コンクール参加校の増加に取り組んでいる。 									

<p>現況・課題</p>	<p>①国立公園利用施設において、施設の再整備（国際化対応や老朽化対策）ができていない箇所もあり、利用に応じて再整備を進めていく必要がある。 また、四国のみちについても、国立公園と同様にイベント等により利用促進を図る必要がある。</p> <p>②貴重な自然環境である香川県自然環境保全地域、香川県緑地環境保全地域については、みどりの巡視員等による巡視活動などにより、県内の自然環境の現状把握に努め、引き続き保護・保全に努める必要がある。また、FIT 制度により太陽光発電所の導入が大幅に拡大していることから、大規模な太陽光発電事業を環境影響評価法の対象とするため、2019 年 7 月に環境影響評価法施行令の一部を改正する政令が公布され、2020 年 4 月 1 日から施行されている。</p> <p>③天然記念物等には経年劣化や、風水害等による損傷等もあり、定期的な現況把握に努め、適切な保護が必要である。</p> <p>④より効果的に生物多様性の認知度向上及び一人一人の行動変容を促すためのテーマ等の検討が必要である。 指定希少野生生物及び指定候補種に対する調査結果に基づき、必要とされる保護対策の検討が必要である。 引き続き愛鳥週間や傷病鳥獣保護の普及啓発を図る必要がある。 生物多様性保全のため、普及啓発・人材育成の取組みを継続するとともに、レッドデータブックの改訂、侵略的外来種リストを作成する必要がある。</p>
--------------	--

施策	暮らしを支えるみどりの充実 「3 身近なみどりの整備・管理」
実施状況	<p>①公共施設の緑化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県有施設の緑化を推進するとともに、屋上緑化の普及モデルとして県庁舎屋上庭園を管理している。 ・ボランティアによる道路の美化清掃、緑化活動に対し、県が清掃道具や緑化資材の支給や、傷害保険料の負担などを行っている（香川さわやかロード）。 ・港湾の水辺空間において、人が海とふれあい、憩える場を確保するとともに、みどり豊かな、海に親しめる快適性の高い公園などの整備を行っている。 ・緑化基準・緑化技術マニュアルに基づき公共施設の緑化を推進するとともに、関係機関と連携して緑化の質の向上に努めている。また、市町に対しても緑化の推進を働きかけている。 <p>②民間施設等の緑化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりが少ない都市部における緑化を効果的に進めるため、民間施設等の芝生化や建物緑化を支援するとともに、樹木医による「みどりの SOS 相談」などにより、地域や日常の暮らしの中で緑化活動を支援している。 ・園芸総合センターでは園芸相談（年間 300 件程度）に対応するとともに、展示や県ホームページ等で四季の花について情報提供を行っている。 <p>③森林公園等の整備・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の心身の健康の増進と、森林や緑化に関する知識の向上を図るために設置された森林公園の適正な管理運営と利用促進に努めている。 ・市町の都市公園の整備について、指導・助言を行い、整備を推進するとともに、既存の都市公園に関しては、主たる公園管理者である市町とともに、指定管理者制度等を活用し適切な維持管理に努めている。
現況・課題	<p>①「香川さわやかロード」については、令和 6 年 3 月末現在 152 団体（約 8,500 人、延長約 144km）を認定している状況であるが、構成員の高齢化による廃止団体の増加が課題である。</p> <p>港湾緑地については、快適なウォーターフロントの形成や、防災拠点としての機能が求められている。今後も住民の憩いの場として利用でき、震災時において復旧の拠点となる港湾緑地を整備する必要がある。</p> <p>香川県緑化技術マニュアルの認知度が低下しつつあり、当該マニュアルとあわせて緑化の参考事例の紹介、周知を行う必要がある。</p> <p>②「街なか緑化推進事業」は、かがわ水と緑の財団が行う緑の募金事業助成金事業において同様の事業があることから、令和 5 年度から事業を廃止しており、今後は、かがわ水と緑の財団と連携し、街なかの緑化の取り組みを支援する必要がある。</p> <p>快適な生活環境づくりや暮らしに活かした花づくり等に対する関心が高まりつつある状況を踏まえて、花と緑の快適環境づくりを進めるための事例展示や花きの園芸相談等ができる施設が必要である。</p> <p>③引き続き森林公園の老朽化した施設の修繕や改修を計画的に行いながら、適切な維持管理に努めるとともに、指定管理者制度の円滑な運用を図り、イベントの企画・開催や施設等の整備を促進することで、施設の利用促進に努める必要がある。</p> <p>県民が安全に安心して都市公園を利用できるよう、限られた予算の中で創意工夫を行い、適切に維持管理する必要がある。</p>

施策	県民総参加のみどりづくり 「1 みどりづくりへの理解と参加の促進」																																								
実施状況	<p>①みどりづくりの意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり銀行活性化事業を実施し、ポイント制度に協賛企業の充実を図るとともに、どんぐり銀行臨時支店を開設している。 ・街頭キャンペーンなど緑の募金活動や、緑の募金による助成事業などについて県民へ周知している。 ・森とみどりの祭典を開催し、みどりづくりから林業・木材利用まで総合的に普及啓発を図っている。 <table border="1" data-bbox="416 584 1310 734"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森とみどりの祭典参加者数</td> <td>— (コロナウイルスのため)</td> <td>60人</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②みどりを守り・育てる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業、森林ボランティア団体等との協働により、みどりに関する多様な講座を実施し、人材育成に努めている。 ・様々な森林とのふれあい活動や、森づくり活動の機会を提供するとともに、必要な支援、情報発信を行っている。 <table border="1" data-bbox="416 1032 1386 1205"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R3 実績</th> <th colspan="2">R4 実績</th> <th colspan="2">R5 実績</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者</th> <th>講座数</th> <th>参加者</th> <th>講座数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みどりの学校 実施状況</td> <td>82</td> <td>1,293人</td> <td>87</td> <td>1,288人</td> <td>72</td> <td>1,408人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="416 1249 1348 1411"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 実績</th> <th>R5 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォレストマッチング</td> <td></td> <td>R5 末時点</td> <td>15企業が実施中</td> </tr> <tr> <td>KFVN 登録団体</td> <td></td> <td>R5 末時点</td> <td>21団体が活動中</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	森とみどりの祭典参加者数	— (コロナウイルスのため)	60人	56人	区分	R3 実績		R4 実績		R5 実績		講座数	参加者	講座数	参加者	講座数	参加者	みどりの学校 実施状況	82	1,293人	87	1,288人	72	1,408人	区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	フォレストマッチング		R5 末時点	15企業が実施中	KFVN 登録団体		R5 末時点	21団体が活動中
区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																																						
森とみどりの祭典参加者数	— (コロナウイルスのため)	60人	56人																																						
区分	R3 実績		R4 実績		R5 実績																																				
	講座数	参加者	講座数	参加者	講座数	参加者																																			
みどりの学校 実施状況	82	1,293人	87	1,288人	72	1,408人																																			
区分	R3 実績	R4 実績	R5 実績																																						
フォレストマッチング		R5 末時点	15企業が実施中																																						
KFVN 登録団体		R5 末時点	21団体が活動中																																						
現況・課題	<p>①どんぐり銀行を実施し、子供たちによるみどりづくり活動への参加を推進しているが、新規預金者数が低迷している。</p> <p>②森林ボランティア活動を担う人材の高齢化などにより、後継者の確保が課題となっている。</p>																																								

施策	県民総参加のみどりづくり 「2 県民参加のみどりづくりの推進」
実施状況	<p>①県民参加の森づくり活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくりや緑化推進の次世代を担う緑の少年団の育成と活動の活性化を図るため、小学校などに新たな緑の少年団の設立を働きかけるとともに、少年団が行うみどりづくり活動を支援している。 <p>②みどりを活かした地域づくり活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かがわ森林・山村多面的機能発揮対策協議会と連携しながら、森林・山村多面的機能発揮対策活動を行う森林ボランティアを支援するとともに、各種イベントの開催や情報発信に努めるなど、里山の活用と保全活動を推進している。 ・農村滞在型観光「農泊」の拠点施設となる農林漁家民宿を対象に、開業手続きの伴走支援や必要となる施設整備への補助を行っている。また、パンフレット、ホームページ、SNS などによる情報発信を行い、農村地域と都市住民との交流を促進している。 ・さぬきの棚田 20 選の広報活動やライトアップイベント開催などにより、棚田地域と都市住民との交流を促進している。 ・香の川創生事業により、河川の流域全体で、行政・地域住民等が一体となって、水環境を保全・創出するための活動に取り組んでおり、現在、綾川、金倉川、与田川、大束川、桜川の 5 流域で実施している。 ・パートナーシップ事業として、地域住民などの団体が自主的に行う河川の清掃などの美化活動・愛護活動に対して、清掃用具の支給や保険の加入などの支援を行っている。 ・香川県海岸漂着物対策等推進計画で指定した最重点区域等において、回収・処理を行っている。また、ボランティアによる海岸清掃活動を広げていくため、「海岸漂着物対策活動推進員」（かがわ海ごみリーダー）を委嘱している。
現況・課題	<p>①緑の少年団の団数は着実に増えてきており、引き続き、小学校などに新たな少年団の設立を働きかけるとともに少年団が行うみどりづくり活動を支援する必要がある。</p> <p>②里山の整備に関する支援制度の情報を発信して、地域づくりにつながる支援を行う必要がある。</p> <p>農泊及びグリーンツーリズムに取り組む関連施設は順調に増加しているが、農泊の拠点となる農林漁家民宿は県内一円に点在していることに加え、急回復するインバウンド需要の取込みが不十分なことから、地域一体となった受入体制の整備とインバウンド対応が課題となっている。</p> <p>貴重な国民的財産である棚田を保全し、多面的機能の維持増進を図るため、都市住民も交えた継続的な保全活動を推進する必要があるものの、過疎化や高齢化の著しい進行により、棚田地域の活力が低下しており、農地や農業用施設の良い維持管理が困難な状況となっている。</p> <p>「香の川創生事業」は、H23 年度以降で新たな実施流域がなく、解散となった流域協議会がある。</p> <p>河川の特長や地域の風土・文化などの個性を活かしつつ、地域と連携した河川の環境整備・保全並びに環境美化を推進するため、行政と県民のパートナーシップを強化し、美しいふるさとの川辺づくりを促進する必要がある。</p> <p>海岸漂着物等（海岸に漂着したごみ及び散乱しているごみ）は海岸の景観や生態系を含めた海洋環境に悪影響を及ぼしており、回収・処理と発生抑制に取り組む必要がある。また、県民との連携を深め、海岸の美化、愛護運動を展開する必要がある。</p>